

①



②



③

### ネパールの基礎知識

国名 ネパール連邦民主共和国  
 首都 カトマンズ  
 人口 約2,649万人(2011年現在)  
 面積 約147,000 km<sup>2</sup> (日本の約1/3)  
 民族 パルバテ・ヒンドゥー(43%)ほか  
 民族は100以上、それぞれ独自のカースト体系を持つ民族も多い  
 主要産業 農業、貿易、卸売業、交通・通信業  
 外交 中国・インドに挟まれた内陸国。  
 伝統的に非同盟中立。  
 在留邦人数 1,107名(2016年10月1日現在)  
 在日ネパール人数 67,470名(2016年12月末)  
 通貨 1ネパール・ルピー=約1.06円(2017年)

宗教	パーセント
ヒンドゥー教	80.6%
仏教	10.7%
イスラム教	4.2%
キリスト教	3.6%
その他	0.9%

ヒンドゥー教は長らく国教とされてきたが、2006年以降国教扱いには廃止されている。  
 仏教とも融和している

伝統的な親日国  
 ...日本は長年主要援助国。登山等の民間交流も活発。

「日・ネパール外交関係樹立60周年」

④

### カトマンズ市内観光

ダルバール広場への通り  
 特に目についたのは真鍮製品  
 軒先いっぱいにかけてある食器類  
 宗教的製品 指輪などの装飾品などなど

⑤



⑥

ダルバール広場の多くの寺院



⑦



**カーライパ像**

顔は目を見開き、全身は真っ黒な破壊と創造の神  
大人気で拝むのに列をなしていた

⑨

**スワヤンブナート寺院**

「ネパール最古の仏教寺院」とも言われ世界遺産にも登録されている  
サルが多くにとまわっている(別名モンキーテンプル)



**「マニ車」と呼ばれるチベット  
仏教の仏具**

側面に経文が刻まれており、手  
で回転させた数だけ経を唱える  
のと同じ功德があるとされている

⑧

**歴代王朝の旧王宮**

2015年4月 マグニ  
チュード7.8の地震で被  
害を受けた(今は博物  
館になっている)  
王宮壁の鬼子母神像



**旧王宮**



**鬼子母神**



⑩

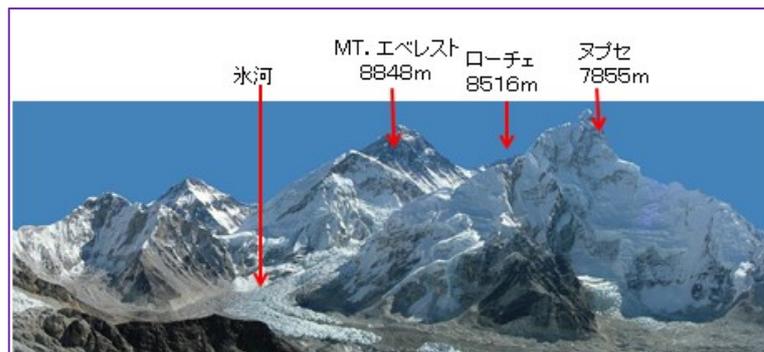


**3日目  
いよいよ世界の屋根**

ヒマラヤ山脈沿いにマウン  
テンフライト  
100分間の空の旅  
地上では視界不良で遅延し  
たが上空で素晴らしい天気  
に恵まれ、大迫力の山々を  
満喫しました。



⑪



ヒマラヤ山脈にある世界最高峰で、山頂はネパールと中国との国境上にある。  
エベレスト(英語) チョモランマ(チベット語) サガルマータ(ネパール語)  
1953年にイギリス探検隊のメンバーでニュージーランド出身の登山家であるエドモンド・  
ヒラリーとネパール出身のシェルパであるテンジン・ノルゲイによって初登頂がなされた。  
1970年5月11日 - (日本人初登頂) - 松浦輝夫・植村直己  
1975年5月16日 - (女性初登頂) - 田部井淳子

⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



⑱



**マナスル 8163m**  
1956年日本人初登頂後、日本人に人気がある  
2013年10月イモトアヤコさん登頂

⑲



コックピット内に交代で入れてもらい操縦士さんに次々と山の名を覚えてもらったが、その光景に感激のあまり、残念ながら覚えたのはいくつもない

⑳

**ボカラ**  
カトマンズより西へ200kmのところあり。ネパール語の「ボカリ」(湖)という言葉から来ている。その名の通りアンナプルナ氷河を水源とするフェウ湖、ペグナス湖、ルパ湖の美しい湖沼群を持つ町です。  
標高は海拔827mとカトマンズに比べると低いため、気候は温暖です。町のすぐ近くに8,000m級の山々がそびえているため、リゾート地としても人気のある場所です。



ロープを手繰り寄せながらの渡し舟に乗って、湖の中のレストランで昼食

㉑



**日本山妙法寺**

ボカラの山の上に日本山妙法寺があり山影に沈む夕日と、ヒマラヤの夕景を楽しんだ

㉒

**4日目 サランコット・ノーダラの丘へ**



早朝5時半出発で、旅行会社建設中のホテル屋上にてサンドウィッチ・おにぎり・お味噌汁で歓迎を受けながら、アンナプルナの日の出と山々を見る予定だったが真っ白にかすみ、残念ながら見る事ができなかった。

㉓



ミニハイキング



丘の上で飲み物で歓迎



レサムピリリの唄と踊り

②5

ボートでベウ湖遊覧



湖に浮かぶ女神を祀るヒンズー教寺院



多民族国家の民族衣装

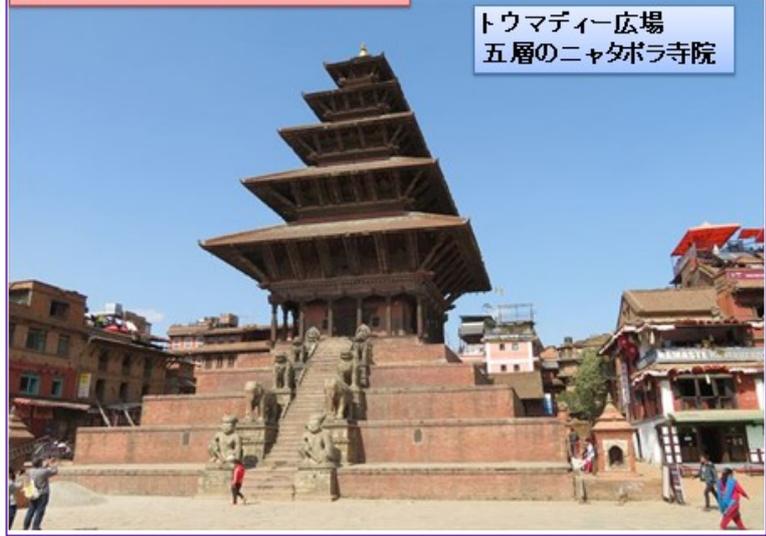


100%シルク  
と書いてある

②6

5日目 世界遺産の古都 バクタプル

トウマディー広場  
五層のニャタボラ寺院



②7



②8

世界遺産 パタン(カトマンズ南部)  
ダルバール広場の寺院



②9



日本人経営のお土産屋  
ネパールカーネーション

2015年4月マグニチュード7.8の地震



復興後と被災時が写真で掲示



現在も至るところ復旧中が見られる

今回の旅は思いもかけずエベレストが見られると楽しみに行きました。機窓から見えるヒマラヤ山脈の山々は感激の一語に尽きるものでした。あわせてネパールの国に少しふれてとてもいい勉強になりました。それぞれの民族性・文化・宗教・そしてその国の持ついろんな事情など少しではあるけど 垣間見ることができたような気がしました。ただ、山々の美しさと 市中の埃っぽさが 同じ国とは思えないようなものでしたが、これも乾季に行ったせいもあるのだらうと思いました。一雨降れば、生き物も草木もホットできそうなのに・・・と思われ、それに比べつくづく日本は四季もあるし、水もきれいだし、住みやすいものだとありがたかった次第です。・・・と後書きしていたら、ネパールが8/11から続くモンスーンによる豪雨の為大洪水で相当な被害が出ているとのニュース。

2017.9.13 深堀千恵子

